



Beyond KUSS, 2024 !!



出願は受験の肝

出願しなければ受験できません。受験できなければ合格できません。合格できなければ進学できません。出願は受験のスタートです。逆に、「第1志望」でない大学に出願し、受験し、合格し、進学してしまうケースもあります。出願は受験の肝です。受験を通じて成長していく人たちは、志望力を出願力に発展させていきます。

「第1志望」について、出願予定校について、慎重に考えてください。

今年度の学校基本調査では右表のとおり、**810大学が設置**されています。常勤教員1人あたりの学生数を比較すると国立と私立で倍以上の差があります。これは高等教育機関としての性格の違いにあります。国立大学のすべてに**大学院**が設置されていますが、私立大学ではそうではありません。国立大学は「研究」の比重が比較的高いため、教員も教育と研究のために配置されてきました。参考までに、神戸大学と関西圏私立大学3校のデータをHPから作成しました。大規模国立大学の場合、理系が6~7割を占めます。神戸大学は全国唯一文理の比率がほぼ半々です。神戸大学(国立大学)の教育・研究環境と私立大学がずいぶん異なることがわかんと思います。

4年制大学	国立	公立	私立	計
学校数	86	102	622	810
学生数	600,177	165,914	2,179,716	2,945,807
教員数	63,778	14,808	113,293	191,879
学生数/教員	9.4	11.2	19.2	15.4

大学院	国立	公立	私立	計
大学院数	86	90	485	661
大学院生数	154,707	17,796	93,508	266,011
院生数/大学	1799	198	193	402

	神戸	関西学院	同志社	立命館
学生数	11,425	24,421	26,166	34,092
教員数	1,566	775	772	1,037
学生数/教員	7.3	31.5	33.9	32.9
大学院生数	4,444	1,365	2,188	2,688

「第1志望」が私立大学等の場合、その大学・学部・学科が実施する様々な選抜制度をできるだけたくさん利用してください。当然ですが、それぞれの選抜制度突破に必要な実力を十分につけることを目指してください。

「第1志望」が国公立大学の場合、前期日程で「第1志望」突破ができるだけの実力をつけているでしょうか。突破が厳しいかどうか、学校もアドバイスします。最終的に重要なのは、みなさん自身の判断です。国公立大学には、前期日程以外に後期日程、公立大学には、さらに中期日程と独自日程があります。すべての日程に出願する必要はありません。重要なのは「第1志望」に合格するための出願です。「第1志望」の大学が前期日程以外の日程も採用している場合、それらの日程にも出願するようにしましょう。

「第1志望」でない大学への出願を考えている人、大丈夫ですか。後期日程であっても、私立大学であっても、その大学に進学し、全力で学びに向かう自信がない限り出願しない方が無難です。後期日程を取りやめる主な原因は、不本意入学が多いからです。

「第1志望」でない私立大学への出願を考えている人、大丈夫ですか。上表のとおり、難関といわれている私立大学でも国立大学との方向性の違いは確実にあります。その点を十分に理解したうえで出願してください。私立大学出願を「練習」と考えている人もいます。一体、何の練習でしょうか。「第1志望」の大学の問題と傾向は同じですか、受験生は同レベルでしょうか、受験会場の雰囲気は似ているでしょうか。いずれもまったく異なります。練習と言えるのは、合格発表とその結果への対応くらいでしょう。

「第1志望」突破のために最も資する出願を考えてください。「合格できないかもしれない症候群」、「どこでもいから合格したい症候群」には要注意です。

<保護者の方々にも読んでいただきますよう>

『Beyond KUSS, 2024!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。